

## 「歯科技工界のあるべき姿と課題」

時見高志

歯科診療所を経営する多くの先生方は、歯科技工士が置かれている現状の環境について理解されており、歯科技工所への補てつ物製作に関しては「品質を重視し安定した歯科技工所」への委託が健全で安定した歯科診療所経営に繋がるとの認識を持たれています。

そんな中、歯科技工士として将来に亘って安心して暮らすためには、適正な歯科技工技術料金の設定が不可欠であり、安全で高品質な補てつ物を提供し、健全な歯科技工所運営の実績が求められます。

昨年 4 月には歯科技工士法施行規則の一部改正が行われ、歯科技工所におけるリモートワークの実施が可能となり、また、近年、デジタル技術を活用した歯科技工の増加など歯科技工を取り巻く状況は変化していることなどから、業務の効率化や質の高い歯科補てつ物等の製作等を行う観点から、機器を共同で利用するなど歯科技工所間の連携をより強めていくための留意点について通知が厚生労働省より発せられました。

歯科医療界と歯科技工業界を取り巻く環境が大きく変化する中、私たちが抱える懸案を解決するための方策について皆様とともに考えたいと思います。